



平成 29 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 北興化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 中島 喜勝
(コード番号 4992 東証第一部)
問合せ先 経理部長 神原 靖夫
電話番号 03-3279-5152

(訂正)「平成 28 年 11 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 4 月 13 日に開示いたしました「平成 28 年 11 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯および理由

訂正内容および理由につきましては、本日公表の「決算短信等および有価証券報告書等の訂正等に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後および訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成28年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月13日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4992 URL <http://www.hokkochem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 喜勝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 神原 靖夫 (TEL) 03-3279-5152
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年11月期第1四半期の連結業績(平成27年12月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第1四半期	14,620	3.0	1,791	24.5	1,621	6.8	1,191	11.1
27年11月期第1四半期	14,188	5.8	1,439	32.1	1,517	43.9	1,072	59.8

(注) 包括利益 28年11月期第1四半期 476百万円 (△60.8%) 27年11月期第1四半期 1,214百万円 (105.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第1四半期	43.22	—
27年11月期第1四半期	38.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年11月期第1四半期	47,685	17,866	37.5
27年11月期	44,204	17,528	39.7

(参考) 自己資本 28年11月期第1四半期 17,866百万円 27年11月期 17,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	4.00	—	5.00	9.00
28年11月期	—	—	—	—	—
28年11月期(予想)	—	4.50	—	4.50	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の連結業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△0.6	2,050	△26.2	2,250	△23.9	1,400	△26.3	50.79

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年11月期1Q	29,985,531株	27年11月期	29,985,531株
② 期末自己株式数	28年11月期1Q	2,426,236株	27年11月期	2,425,420株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年11月期1Q	27,559,430株	27年11月期1Q	27,568,504株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や個人消費などに弱さが見られたものの、政府や日銀による財政・金融政策を背景に、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、日銀による前例のないマイナス金利政策の実施、海外においては、中国経済の減速や金融市場の混乱、米国経済の下振れ懸念や追加利上げの見送り、更には円高・ドル安方向への動きなど、従来にも増して先行きの不透明感が強まる状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、農薬事業においては新製品の普及拡販、ファインケミカル事業においては大型需要製品の販売や新規受託品の受注活動を強化してまいりました。

当第1四半期の業績は、主に農薬製品の受注が早まったことから、売上高が146億2千万円（前年同期比4億3千2百万円の増加、同3.0%増）となりました。利益面では営業利益は、売上高の増加により、17億9千1百万円（前年同期比3億5千3百万円の増加、同24.5%増）、経常利益は円高による為替差損の発生などにより、16億2千1百万円（前年同期比1億4百万円の増加、同6.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億9千1百万円（前年同期比1億1千9百万円の増加、同11.1%増）となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品は、国内販売における水稲用の除草剤や殺菌剤の出荷が早まったことから、増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は115億2千5百万円（前年同期比7億3千1百万円の増加、同6.8%増）、営業利益は13億2千8百万円（前年同期比2億6千万円の増加、同24.4%増）となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の販売は、主要分野の樹脂添加剤や医農薬中間体の受注が低調に推移したことにより、減収となりました。この結果、本セグメントの売上高は30億8千8百万円（前年同期比2億9千6百万円の減少、同8.7%減）、営業利益は収益性の改善により4億6千2百万円（前年同期比9千5百万円の増加、同25.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は476億8千5百万円となり、前連結会計年度末比34億8千1百万円の増加となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債の残高は298億1千8百万円となり、前連結会計年度末比31億4千3百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は178億6千6百万円となり、前連結会計年度末比3億3千8百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月期決算発表時（平成28年1月13日）に公表いたしました通期連結業績予想に変更ありませんが、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

当社は、たな卸資産の一部についてその廃棄損を営業外費用に計上しておりましたが、基幹システムの変更により原価解析をより精緻に行うことができるようになったことを契機に検討を行った結果、原価性が高まっていることが明らかになったため、売上原価として計上する方法に変更することといたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っておりますが、金額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,612	1,875
受取手形及び売掛金	13,061	18,988
商品及び製品	10,880	9,243
仕掛品	290	302
原材料及び貯蔵品	4,154	4,098
繰延税金資産	585	402
その他	456	249
流動資産合計	31,037	35,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,141	3,970
機械装置及び運搬具(純額)	2,474	2,341
土地	1,004	1,004
その他(純額)	327	561
有形固定資産合計	7,945	7,876
無形固定資産		
ソフトウェア	401	368
その他	356	327
無形固定資産合計	757	695
投資その他の資産		
投資有価証券	3,894	3,118
繰延税金資産	334	605
その他	252	250
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,465	3,958
固定資産合計	13,167	12,529
資産合計	44,204	47,685

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,304	7,802
短期借入金	3,429	8,297
1年内返済予定の長期借入金	2,127	1,960
未払費用	3,728	2,081
未払法人税等	774	426
賞与引当金	—	233
その他	2,669	2,705
流動負債合計	<u>20,031</u>	<u>23,504</u>
固定負債		
長期借入金	2,501	2,230
退職給付に係る負債	<u>3,986</u>	<u>3,924</u>
資産除去債務	49	49
その他	<u>109</u>	111
固定負債合計	<u>6,644</u>	<u>6,314</u>
負債合計	<u>26,675</u>	<u>29,818</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	<u>10,604</u>	<u>11,657</u>
自己株式	<u>△1,005</u>	<u>△1,005</u>
株主資本合計	<u>15,421</u>	<u>16,474</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,994	1,470
繰延ヘッジ損益	7	—
為替換算調整勘定	424	208
退職給付に係る調整累計額	<u>△317</u>	<u>△286</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>2,107</u>	<u>1,392</u>
純資産合計	<u>17,528</u>	<u>17,866</u>
負債純資産合計	<u>44,204</u>	<u>47,685</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
売上高	14,188	14,620
売上原価	10,653	10,796
売上総利益	3,536	3,824
販売費及び一般管理費	2,097	2,032
営業利益	1,439	1,791
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	20
為替差益	37	—
受取手数料	1	7
その他	67	24
営業外収益合計	122	50
営業外費用		
支払利息	33	30
為替差損	—	179
その他	10	11
営業外費用合計	43	220
経常利益	1,517	1,621
特別利益		
固定資産売却益	0	1
移転補償金	251	—
その他	—	0
特別利益合計	251	1
特別損失		
固定資産除却損	4	10
事業整理損	35	—
本社移転費用	23	—
特別損失合計	62	10
税金等調整前四半期純利益	1,706	1,612
法人税等	634	421
四半期純利益	1,072	1,191
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,072	1,191

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年2月29日)
四半期純利益	1,072	1,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	△524
繰延ヘッジ損益	△33	△7
為替換算調整勘定	5	△216
退職給付に係る調整額	21	31
その他の包括利益合計	142	△715
四半期包括利益	1,214	476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,214	476
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,794	3,384	14,178	10	14,188	—	14,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	99	99	△99	—
計	10,794	3,384	14,178	109	14,287	△99	14,188
セグメント利益	1,067	367	1,435	4	1,439	—	1,439

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 当社は、たな卸資産の一部についてその廃棄損を営業外費用に計上しておりましたが、基幹システムの変更により原価解析をより精緻に行うことができるようになったことを契機に検討を行った結果、原価性が高まっていることが明らかになったため、売上原価として計上する方法に変更することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、農薬事業のセグメント利益の組替えを行っておりますが、金額は軽微であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,525	3,088	14,613	6	14,620	—	14,620
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	69	69	△69	—
計	11,525	3,088	14,613	75	14,688	△69	14,620
セグメント利益	1,328	462	1,790	2	1,791	—	1,791

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(訂正前)



平成28年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月13日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4992 URL <http://www.hokkochem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 喜勝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 神原 靖夫 (TEL) 03-3279-5152
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年11月期第1四半期の連結業績(平成27年12月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第1四半期	14,620	3.0	1,791	24.5	1,621	6.8	1,191	11.1
27年11月期第1四半期	14,188	5.8	1,439	32.1	1,517	43.9	1,072	59.8

(注) 包括利益 28年11月期第1四半期 476百万円 (△60.8%) 27年11月期第1四半期 1,214百万円 (105.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第1四半期	43.22	—
27年11月期第1四半期	38.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年11月期第1四半期	47,118	18,903	40.1
27年11月期	43,874	18,565	42.3

(参考) 自己資本 28年11月期第1四半期 18,903百万円 27年11月期 18,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	4.00	—	5.00	9.00
28年11月期	—	—	—	—	—
28年11月期(予想)	—	4.50	—	4.50	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の連結業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△0.6	2,050	△26.2	2,250	△23.9	1,400	△26.3	50.79

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年11月期1Q	29,985,531株	27年11月期	29,985,531株
② 期末自己株式数	28年11月期1Q	2,426,236株	27年11月期	2,425,420株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年11月期1Q	27,559,430株	27年11月期1Q	27,568,504株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や個人消費などに弱さが見られたものの、政府や日銀による財政・金融政策を背景に、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、日銀による前例のないマイナス金利政策の実施、海外においては、中国経済の減速や金融市場の混乱、米国経済の下振れ懸念や追加利上げの見送り、更には円高・ドル安方向への動きなど、従来にも増して先行きの不透明感が強まる状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、農薬事業においては新製品の普及拡販、ファインケミカル事業においては大型需要製品の販売や新規受託品の受注活動を強化してまいりました。

当第1四半期の業績は、主に農薬製品の受注が早まったことから、売上高が146億2千万円（前年同期比4億3千2百万円の増加、同3.0%増）となりました。利益面では営業利益は、売上高の増加により、17億9千1百万円（前年同期比3億5千3百万円の増加、同24.5%増）、経常利益は円高による為替差損の発生などにより、16億2千1百万円（前年同期比1億4百万円の増加、同6.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億9千1百万円（前年同期比1億1千9百万円の増加、同11.1%増）となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品は、国内販売における水稲用の除草剤や殺菌剤の出荷が早まったことから、増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は115億2千5百万円（前年同期比7億3千1百万円の増加、同6.8%増）、営業利益は13億2千8百万円（前年同期比2億6千万円の増加、同24.4%増）となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の販売は、主要分野の樹脂添加剤や医農薬中間体の受注が低調に推移したことにより、減収となりました。この結果、本セグメントの売上高は30億8千8百万円（前年同期比2億9千6百万円の減少、同8.7%減）、営業利益は収益性の改善により4億6千2百万円（前年同期比9千5百万円の増加、同25.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は471億1千8百万円となり、前連結会計年度末比32億4千3百万円の増加となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債の残高は282億1千5百万円となり、前連結会計年度末比29億6百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は189億3百万円となり、前連結会計年度末比3億3千8百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月期決算発表時（平成28年1月13日）に公表いたしました通期連結業績予想に変更ありませんが、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

当社は、たな卸資産の一部についてその廃棄損を営業外費用に計上しておりましたが、基幹システムの変更により原価解析をより精緻に行うことができるようになったことを契機に検討を行った結果、原価性が高まっていることが明らかになったため、売上原価として計上する方法に変更することといたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っておりますが、金額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,612	1,875
受取手形及び売掛金	13,061	18,988
商品及び製品	10,880	9,243
仕掛品	290	302
原材料及び貯蔵品	4,154	4,098
繰延税金資産	585	402
その他	456	249
流動資産合計	31,037	35,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,141	3,970
機械装置及び運搬具(純額)	2,474	2,341
土地	1,004	1,004
その他(純額)	327	561
有形固定資産合計	7,945	7,876
無形固定資産		
ソフトウェア	401	368
その他	356	327
無形固定資産合計	757	695
投資その他の資産		
投資有価証券	3,894	3,118
繰延税金資産	4	38
その他	252	250
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,135	3,391
固定資産合計	12,837	11,962
資産合計	43,874	47,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,304	7,802
短期借入金	3,429	8,297
1年内返済予定の長期借入金	2,127	1,960
未払費用	3,728	2,081
未払法人税等	774	426
賞与引当金	—	233
その他	2,669	2,705
流動負債合計	<u>20,031</u>	<u>23,504</u>
固定負債		
長期借入金	2,501	2,230
退職給付に係る負債	<u>2,383</u>	<u>2,321</u>
資産除去債務	49	49
その他	<u>346</u>	111
固定負債合計	<u>5,279</u>	<u>4,711</u>
負債合計	<u>25,309</u>	<u>28,215</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	<u>11,639</u>	<u>12,692</u>
自己株式	<u>△1,005</u>	<u>△1,005</u>
株主資本合計	<u>16,456</u>	<u>17,510</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,994	1,470
繰延ヘッジ損益	7	—
為替換算調整勘定	424	208
退職給付に係る調整累計額	<u>△316</u>	<u>△285</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>2,108</u>	<u>1,393</u>
純資産合計	<u>18,565</u>	<u>18,903</u>
負債純資産合計	<u>43,874</u>	<u>47,118</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
売上高	14,188	14,620
売上原価	10,653	10,796
売上総利益	3,536	3,824
販売費及び一般管理費	2,097	2,032
営業利益	1,439	1,791
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	20
為替差益	37	—
受取手数料	1	7
その他	67	24
営業外収益合計	122	50
営業外費用		
支払利息	33	30
為替差損	—	179
その他	10	11
営業外費用合計	43	220
経常利益	1,517	1,621
特別利益		
固定資産売却益	0	1
移転補償金	251	—
その他	—	0
特別利益合計	251	1
特別損失		
固定資産除却損	4	10
事業整理損	35	—
本社移転費用	23	—
特別損失合計	62	10
税金等調整前四半期純利益	1,706	1,612
法人税等	634	421
四半期純利益	1,072	1,191
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,072	1,191

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	1,072	1,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	△524
繰延ヘッジ損益	△33	△7
為替換算調整勘定	5	△216
退職給付に係る調整額	21	31
その他の包括利益合計	142	△715
四半期包括利益	1,214	476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,214	476
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,794	3,384	14,178	10	14,188	—	14,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	99	99	△99	—
計	10,794	3,384	14,178	109	14,287	△99	14,188
セグメント利益	1,067	367	1,435	4	1,439	—	1,439

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 当社は、たな卸資産の一部についてその廃棄損を営業外費用に計上しておりましたが、基幹システムの変更により原価解析をより精緻に行うことができるようになったことを契機に検討を行った結果、原価性が高まっていることが明らかになったため、売上原価として計上する方法に変更することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、農薬事業のセグメント利益の組替えを行っておりますが、金額は軽微であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,525	3,088	14,613	6	14,620	—	14,620
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	69	69	△69	—
計	11,525	3,088	14,613	75	14,688	△69	14,620
セグメント利益	1,328	462	1,790	2	1,791	—	1,791

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。